

パッケージ呼称	細胞内分子動態解析用蛍光蛋白質プローブ調整システム
構成	<p>DNA 塩基配列解析装置 (Applied Biosystems 3500xL-150)</p> <p>化学発光検出装置 (GE ヘルスケア ImageQuant LAS4010)</p> <p>バイオクリーンベンチ (日本エアテック BHC-1306II A2S)</p> <p>超微量分光光度計 (サーモフィッシャー NanoDrop 2000)</p> <p>分光光度計 (島津 UV-1800)</p> <p>分光蛍光光度計 (日立ハイテック F-2700)</p> <p>多機能分離用超遠心機 (日立工機 CP80WX)</p> <p>微量高速冷却遠心機 (トミー精工 MX-305)</p> <p>小型遠心機 (日立工機 CF9RX)</p> <p>CO2 インキュベーター (三洋電機 MCO-40AIC)</p> <p>卓上超遠心機 (日立工機 CS100GXII)</p> <p>真核細胞培養システム</p>
何ができるか	最先端補助金で整備した各種光学顕微鏡の特性にマッチした蛍光蛋白質プローブ、細胞試料の調整と光学特性評価が可能である。また、一般的な生化学実験、分子生物学実験を行なうことができる。
総括担当者名	上田 昌宏
その他	生化学・分子生物学に用いる一般的な手法に関して十分な基礎知識を有していると共に、最先端補助金で整備した各種光学顕微鏡を用いた細胞内分子動態解析を実施する研究者を対象とする。光学顕微鏡の詳細については順次公開を予定している。